

## 協働まちづくり推進委員会の主な審議内容

協働まちづくり推進委員会では、仙台市が実施する多様な主体の協働によるまちづくりの推進のためのさまざま施策に対して、専門家や市民等の幅広い意見・助言を反映させることを目的に審議を行っている。平成27年7月の「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」施行後に審議を行った主な施策は次のとおり。

### ①協働まちづくりの推進のための基本方針の策定(平成28年1月)

「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」に基づき、協働によるまちづくりの推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」策定に向け、答申を行った。答申にあたっては、「せんだい市民カフェ」を複数回実施し、これからの市民協働の進め方について委員が市民と意見交換を行った。

基本方針では、協働の基本理念を「自立」「連携」「創発」という3つのキーワードで表しているほか、多様な主体の協働によるまちづくりを推進していくための3分野13項目の基本施策、各主体に期待される取り組みを示している。



せんだい市民カフェ「わたしたちの協働指針を作ろう!」の様子 (H26.7)



基本方針答申の様子 (H27.10)

### ②市民活動サポートセンターの機能強化(平成30年2月)

「多様なまちづくりの担い手が集い、アイデアを交え、つながりを育む場づくり」をコンセプトに、平成30年2月に交流スペースの拡充や情報発信機能の充実など施設内部の機能強化を実施した。



市民との意見交換

施設のあり方や必要な機能について議論



エントランスホール(1階)

窓口に加え、交流・イベントスペースとして活用できるよう整備



交流サロン(5階)

可動の仕切りや家具を設置し、多様な用途に対応

### ③新しい助成制度の構築(平成29年度～)

2団体以上が協働により実施し、社会的課題の解決やまちの魅力の創造を図る事業への支援を行う「仙台市協働まちづくり推進助成事業」を構築。平成29年にモデル事業を実施し、平成30年度から制度の本格運用を開始した。

本事業は、助成と併せてコンサルティングや専門家の派遣を行うことで、協働のノウハウの蓄積・定着や事業実施基盤の強化を図る点が特徴となっており、他の政令指定都市には見られない取り組みとなっている。

### ④協働事例集・手引きの作成(平成30年2月)

協働に関する理解を広め担い手のすそ野を広げるため、市内の協働の取り組みを紹介する事例集「協働まちづくりの実践」と、協働の考え方や進め方をまとめた「協働まちづくりの手引き」を作成し、平成30年3月に発行。市内の公共施設や協働関連のイベント・講座等で配布を行っている。

本冊子作成のために委員会が設置した分科会では、編集方針の検討や掲載事例の選定を行ったほか、映像版の作成にも取り組んだ。

#### 事例集

市内25の協働事例について、関係者の活動に対する思いなどを紹介。取材・執筆を市民、学生、市職員ライターが行うなど市民協働で制作。発行部数5,000部。



#### 手引き

協働の始め方、進め方等をPDCAサイクルに沿って紹介。事例集掲載事例の引用により、協働のプロセスを具体的にイメージ可能。発行部数4,000部。